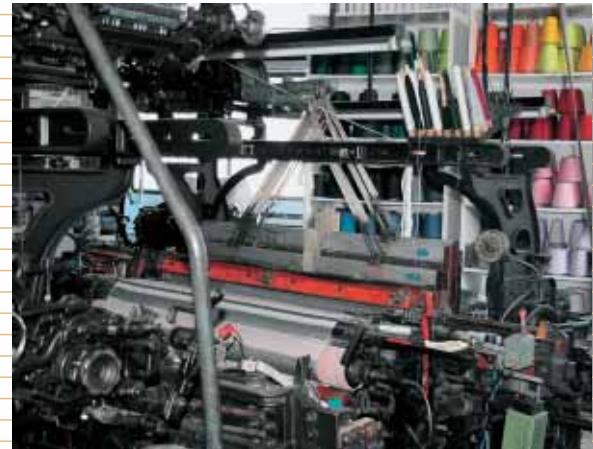




We Serve

ゲストスピーチ

魅力ある播州織をショールという商品でPR



播州織の新たな可能性 玉木新雌

播州織の魅力は綿が主体であること。洗濯しやすいし、肌触りが良いことは消費者としてすごく嬉しいことです。次に先染であること。糸で染めて織ることで、織の段階でデザインができる事は高度な技術が必要です。次に産地機能が現在でも存在していること。日本の他の産地は殆どが崩壊しています。今でも機能していることは素晴らしいことです。最後に播州織は素材であること。最終製品ではなく、素材であることは色んな商品の開発が可能です。この魅力ある播州織をショールという商品で今後もPRし、西脇を活性化できたらと願っています。



プロフィール

1978年 福井県勝山市で生まれ。
武庫川女子大学卒業後エスモード・ジャパンにて服作りをトータルで学ぶ。
商社でパターンの経験を積み、2004年ブランド「tamaki niime」を立ち上げる。
当初から播州織の開発を手掛け、2010年念願のヴィンテージ織機を3台導入。
自ら織を手掛け、オリジナルの播州織ショールの開発に力を注ぐ。



We Serve

10月16日(日) 身体障がい者体育大会への参加

開催場所／西脇市民センターグラウンド
開始時間／10:00 雨天中止!



10月23日(日) LCIF (視覚障がい者支援事業) チャリティバザー

開催場所／兵庫県畜産共進会・
産業フェスタ2011
にしわき上比延工場公園
開始時間／10:00



計画大会委員会からおさそい ライオンレディー親睦旅行

「鍛えられた美しいカラダ!」
「アドレナリン噴出のアクロバットの数々…」神業です。
生で「ひゃっほー!!」な驚きを体験してみませんか?

日 程／10月30日(日)
集合場所／西脇市民会館
出発時間／9:30

※あと少し席が空いています。
申し込みはお早めに!



西脇ライオンズクラブ 「広げよう奉仕の輪を、高めよう奉仕の心を」 メンバーの紹介

株式会社 ブリーデン

代表取締役 村井光一 kou@broaden.net

〒677-0004 兵庫県西脇市市原町18-1
tel.0795-23-0730 fax.0795-23-0389
mobile.090-3613-1089 www.broaden.net

株式会社 松原工務店

松原一級建築士事務所

松原義紀

〒677-0004 兵庫県西脇市市原町159
TEL.(0795)22-5998 FAX.(0795)22-4939

コロヤス美容室

取締役
頃安芳昭

(有)コロヤス<フライタル/ロイヤルホテル・ホテルグリーンプラザ東条湖指定店>
ヴィーヴコロヤス■〒677-0015 西脇市西脇951 アピカ西脇北棟1F TEL.0795-23-8029
加西店■〒675-2324 加西市北条町東南字矢ノ原101-24 PAL一番街 TEL.0790-43-1310
オフィス・テクニカルセンター■〒677-0015 西脇市中本町1丁目979 TEL.0795-22-3586

交通安全施設・保安用品・看板・フェンス・公園施設

小山産業株式会社

代表取締役 小山善郎

〒677-0006 兵庫県西脇市羽安町323番地
TEL:(0795)22-4202 FAX:(0795)22-4239
E-mail info@koyama-s.jp URL http://www.koyama-s.jp

丸山隆義

〒677-0064 兵庫県西脇市八坂町88番地
電話 0795-27-0403

各種国産車・外車販売・各種自動車用品販売 (車検・修理・板金塗装・保険代理店)

オートショップ タートル

代表 朝井嘉行

〒677-0003 兵庫県西脇市西田町228-1
TEL.(0795)23-6137 FAX.(0795)23-6124

編集人 ライオンズクラブ国際協会 335-D地区 3R2Z
西脇ライオンズクラブPR情報委員会

編集担当 田中 功・藤田幸三・岡田義男・岡本隆史・高橋博久・矢野耕司・坂田 博

事務局 〒677-0015 兵庫県西脇市西脇990 西脇商工会議所内
TEL.0795-25-0711 FAX.0795-22-8739
E-mail:n-lions@io.ocn.ne.jp
URL:http://nishiwaki.lions-c.net



NISHIWAKI

Lions Club News



会長テーマ 一期一会

Vol.50 No.3 2011.9.27発行



播州織りのショール

第1166回例会挨拶

会長 生田弘之

こんにちは本日は何かとご多用の中を例会にご出席いただき、ありがとうございます。

ゾーンからは一人だけの出席という案に浴し、先月の末に大阪で行なわれたウインクン・タム国際会長のセミナーに出席してまいりました。オセアルでは4人目で香港出身のタム会長は小柄でしたが、笑顔がすばらしい方でその全身からオーラが溢れている感じでした。地球をますます緑にという「1年間に100万本の植樹運動」を提唱されました。後半は次々と出される出席者からの質問、意見に通訳を入れての話でしたが、いずれも適切に答えておられました。もっと話が聞きたかったのですが時間が短く残念でした。

さて話は変わりますがこの度の台風12号の雨は、各地に大変な被害をもたらしました。奈良県、和歌山県では亡くなられた方と行方不明の方が100名を超えています。わが市におきましても郷瀬町を中心に床上浸水、床下浸水と大きな被害がありました。被災された方々に心からお悔やみとお見舞いをもうしあげます。

3月の東日本大震災から日本は災害列島の様子を呈しています。災害のときには危機管理能力が問われますが、事前に適切に情報をつかみ、適切に判断して行動する事がいかに大切であるかという事を、この度の災害から学びとることが出来ます。二度と同じような災害による被害を出さないためにも、みんなで考えて備える事が大事であると思っています。

この度の一連の災害では消防、警察、自衛隊の活動が目ざましく国民からは大変ありがたく、心強く感じられる方も多いと思います。中でも各地の消防団の働きは、私自身頭が下がる思いがしています。私も比較的長く団に所属しておりましたが、消防団は地域密着型で地元になくてはならない存在になっています。団員は出動の度にわずかな出動手当てを貰っている関係上、完全なボランティアとは言えませんが本当によくやっているとと思っています。

しかしその消防団も最近は団員が少なくなってきました。しかも地域の産業構造の変化のため、遠くへ働きに出る団員が多く、昼間地元で災害が起きても極端に少ないという状況で十分な機能を発揮することが出来ません。そのため地元にいる消防OBを消防協力員としてお願いしている状態ですが、出動中の事故など公務災害による補償がありません。それでこの度補償をするため、機能別団員制度といまして来春からOBの方を特別団員として団に組み入れ、活動してもらう事になりました。

今後とも消防団の使命であります「あらゆる災害から地域住民の崇高な生命、身体それに貴重な財産をお守りする」という責務を重んじて活動していただきたいと思っています。災害のない町といえは語弊がありますが、災害の少ない町づくりのために私たちは何が出来るのか、一人ひとりが自分のこととして考えてみる事も大事ではないかと思っています。よく想定外の災害だったといいますが、これは単なる言い訳に過ぎません。どんな災害が起きても万全の体制で対応できるよう、心構えを養っておきたいと思っています。

結びになりますが、国民一丸となつての復旧、復興活動の推進と消防、警察、自衛隊の今後のご活躍を心からお祈り申し上げます、会長挨拶といたします。

西脇LCアクティビティスローガン 広げよう奉仕の輪を 高めよう奉仕の心を